

## 竹中 正治(たけなか まさはる)

龍谷大学経済学部、名誉教授(2025年5月から)

同大学経済学部教授を2025年3月末定年退職

株式会社竹中 R&I 代表取締役

E mail: [takenaka1221@yahoo.co.jp](mailto:takenaka1221@yahoo.co.jp)

### 学歴・学位

東京大学経済学部卒、1979年3月

京都大学博士(経済学)2012年7月

### 職歴等

1979年東京大学経済学部卒、同年東京銀行入行、東京三菱銀行(現三菱東京UFJ銀行)の為替資金部長、調査部次長などを経て、2003年3月よりワシントン駐在員事務所所長。ワシントンから米国の政治・経済の分析レポート「ワシントン情報」を発信し、National Economists Club (WDC) 役員、Conference of Business Economists 会員を務めるなどエコノミストとして活動。

2007年1月に帰国、同年2月より(財)国際通貨研究所、経済調査部長・チーフエコノミストを経て、2009年4月より龍谷大学経済学部教授、2025年3月同大学を定年退職

最近の論考の掲載は、日経ビジネス・オンライン「ニュースを斬る」、毎日新聞社「週刊エコノミスト」、時事通信社「金融財政ビジネス」、講談社現代ビジネス・オンライン、ダイヤモンド・オンラインなど多数。

### 著書

「通貨オプション戦略」竹中正治、久保田真 著 日本経済新聞社 1990年

「米国経済の真実」東京三菱銀行調査室編(共著)東洋経済新報社 2002年

「外貨投資の秘訣」竹中正治 扶桑社 2006年

「マネーの動きで読み解く外国為替の実際」(共著、国際通貨研究所編)PHP研究所出版 2007年

「ラーメン屋マクドナルド、エコノミストが読み解く日米の深層～」新潮新書 2008年

「今こそ知りたい資産運用のセオリー」光文社 2008年

「これから10年、外国為替はこう動く」(共著)PHP研究所 2009年

「なぜ人は市場に踊らされるのか？」日本経済新聞出版社 2010年

「2011年の世界情勢」共著(ワールドアナリシス・グループ)PHP研究所 2011年

「米国の対外不均衡の真実」晃洋書房 2012年(京都大学博士号対象著書)

「稼ぐ経済学～黄金の波に乗る知の技法～」光文社、2013年

「資産形成のための金融・投資論」Kindle、2020年

「世代別新NISA、iDeCo 徹底活用法」(共著)日本経済新聞出版、2023年

### 主要論文

“New Dimension of Financial Liberalization in Japan” National Association for Business Economics, Vol.42, Number 2, April 2007

「資産分布格差で読み解く、日米家計のリスク性金融資産比率の相違」

(財)国際通貨研究所、国際経済金融論考、2008年4月(2008年日本金融学会秋季大会報告論文)

「グローバルインバランスとドル基軸通貨体制の行方」日本総研、Business & Economic Review、2010年2月号

「2000年代の金融危機と外国為替相場の変動～日本円と韓国ウォン相場の非対称性を中心に～」

(財)国際通貨研究所、国際経済金融論考、2013年6月(2013年日本金融学会秋季大会報告論文)

「金融危機後の米国の縮小する経常収支赤字と対外純負債膨張のパラドックス～対外投資リターン格差の優位、変調か持続か～」(財)国際通貨研究所、国際経済金融論考、2014年9月(2015年日本金融学会春季大会報告論文)

### 所属学会

日本金融学会、日本国際経済学会、Conference of Business Economists(USA)

## 近年の社外活動

2004年～現在 米国 Conference of Business Economists 会員

2006年1月

～12月 米国 National Economists Club(WDC)ボードメンバー

2006年9月～ 日本金融学会会員

2006年9月～ 日本国際経済学会会員

2007年 京都大学公共政策大学院非常勤講師、立命館大学非常勤講師

2009年4月～ (財)国際通貨研究所 客員研究員

2019年9月～ NPO 法人みんなのお金のアドバイザー協会 FIWA のアドバイザーボードメンバー

その他、日本、米国での経済・金融講演会多数